

## ■ 全国の若者の小説創作を応援 ■

# 2026年度「織田作之助青春賞」募集開始

～ 24歳以下の書いた短編小説が対象。昨年度の応募は285作品 ～

関西大学など4団体の組織で構成される織田作之助賞実行委員会は、24歳以下の若者による短編小説を対象とした「織田作之助青春賞」の作品を、6月6日（土）～8月31日（月）まで募集します。

### 本件の ポイント

- ・2026年度「織田作之助青春賞」の作品募集を開始。昨年は関西の大学生が受賞
- ・24歳以下の若者が書いた短編小説が対象で、2025年度は全国から285作品の応募
- ・関西大学のほか、大阪市、毎日新聞社などが入った実行委員会が主催

織田作之助賞は、大阪生まれの作家、織田作之助の生誕70年を記念して創設された文学賞です。既刊の単行本を対象とする「織田作之助賞」と24歳以下による未発表の作品を対象とする「青春賞」の2つの賞があります。青春賞は、大学生・高校生を中心とする若い書き手を応援する公募賞として年々関心が高まっており、2025年は全国から285作品が寄せられ、大阪芸術大学4年（当時）の高橋菜々実さんが受賞しました。受賞作は文芸誌『三田文学』に掲載されます。



< 2025年度の贈呈式の様子 >

### ■ 関西大学が織田作之助賞の選考に関わる意義

関西大学は、織田作之助賞の創設時から文学部教員が選考に関わっており、2006年に青春賞が創設されて以降は大学としても賞の主催団体に加わりました。現在、青春賞は文学部教授が、織田作之助賞には理事長が選考委員を務めています。大阪で生まれ育った関西大学が、この文学賞の運営に関わることで、多くの若者が活字に触れる機会を創出し、本を読むことの魅力を伝える一助になることを目指しています。

### < 2026年度「織田作之助青春賞」の概要 >

【賞】 賞状、賞金30万円、記念品

※18歳以下の応募者による優れた作品には別途、奨励賞を贈る場合がある

【募集内容・応募規定】

2026年8月末日で24歳以下の作者による未発表の短編小説（題材・ジャンルは自由）  
ChatGPTなどの生成AI（人工知能）で出力した文章を含む作品は対象外。

原則、応募フォームより申し込む

【締切】 8月31日（月） ※郵送の場合、当日消印有効

【発表】 2026年12月頃

【選考委員】 藤野可織（作家）、増田周子（関西大学文学部教授）、松永K三蔵（作家） ※敬称略

【主催】 織田作之助賞実行委員会（大阪市、大阪文学振興会、関西大学、毎日新聞社）

【協賛】 一心寺、オダサク倶楽部、丸善雄松堂

【後援】 大阪府教育委員会

【特別協力】 三田文学会

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：伊地知、小林、井上

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp